

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月31日

協議会名: 塩竈～朴島航路確保維持協議会

評価対象事業名: 塩竈市(塩竈～朴島航路)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>塩竈市 塩竈～朴島航路</p>	<p>本土と浦戸諸島の通勤通学及び通院、浦戸への観光客の足として、なくてはならない生活の足であるとともに、海苔・牡蠣などの生産物を輸送する唯一の輸送手段であり、塩竈～朴島間を1日6～8往復運航。</p>	<p>【前回の評価結果】 浦戸諸島の人口減少や復旧工事関係者の利用減が見込まれる中で、交流人口や島内イベント等各種事業の実施による利用促進対策の実施。</p> <p>【評価結果の反映状況】 新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、花火大会や島内のイベントが中止になったことから、イベントのSNSによる情報発信が行えず、市営汽船を利用した浦戸諸島を訪れる機会を創出させることができなかつた。なお、桂島海水浴場が縮小ではあるが、再開されたことで夏季期間の利用者の回復傾向が見られた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画どおり事業が実施されない点があった。</p> <p>B</p> <p>人口減少や新型コロナウイルス感染症により利用者が減少している。今後も高齢化が進む浦戸諸島において、交流人口を増加させる取り組みや適切な運航体制の検討をする必要がある。</p>	<p>B</p> <p>R3.10～R4.9までの利用者数は、128,238.5人となり前年度(136,670.5人)比93.8%、見込数(160,710人)に対しては79.8%であった。そのうち、観光客の利用者は、34,451人となり、前年度利用者(37,543.5人)比91.8%と下回った。</p> <p>なお、島民の利用者数については、新型コロナウイルス感染拡大による出控えや人口減少の影響もあり、45,421.5人となり前年度(47,127人)比96.4%であった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による出控えにより、観光客を中心に利用者が少ない状況が続いているが、コロナ禍で開設できなかった桂島海水浴場が縮小ではあるが再開され、一部利用者の回復があった。</p>	<p>今後、島の人口減による利用者の減少が予測されるが、地域に居住して水産業等に従事しながら定住・定着を図っていく、「地域おこし協力隊」の制度を積極的に活用し、浦戸地区の活性化に取り組んでいく。</p> <p>交流人口の増加による利用促進を図るため、島内でのイベントやみちのく潮風トレイルなど各種事業と連動させながら、浦戸の魅力や島のイベント等の情報をSNS等により発信し、季節毎にイベントを企画・実施していく。</p> <p>また、浦戸を活性化するプロジェクトにて、市内の学生へ浦戸の魅力を知ってもらうため、「校外学習支援事業」に取り組んでいくこととしている。今後も島民及び利用者の意見を聞きながら、一年を通じて安全で安定的な運航を行えるよう検討していく。</p>